

高知高等技術学校に求められる役割

- 施設内訓練では産業界のニーズに沿った基礎的な技能・知識の習得等の訓練を実施し、地域産業を担う人材を育成・輩出する。
- 在職者に対しては産業界や企業のニーズにあった在職者訓練を実施し、企業在職者にとって必要な資格取得やスキルアップを図る。
- 離転職者等に対しては再就職に必要な職業訓練の機会を確保するとともに、求人者及び求職者のニーズを踏まえて安定した就職につながる職業訓練を民間教育訓練機関等に委託して実施する。

5年後（令和7年度まで）の目指す姿

【施設内訓練（普通課程）】

- 入校選考応募率 100.0%
- 自己都合による中途退校率 5.7%
- 就職率（うち関連就職率） 98.1%（92.2%）

【在職者訓練】

- 受講者数（累計） 1,140人（R3～R7累計）※両校の合計

【委託訓練】

- 就職率 84.5%

目指す姿を達成するために

【施設内訓練（普通課程）】

- 入校選考応募率
 - ・デジタル技術も活用した情報発信の強化
- 自己都合による中途退校率
 - ・生活相談員の配置
- 就職率（うち関連就職率）
 - ・就職コーディネーターの配置
 - ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施
 - ・インターンシップの実施
- その他全般に関する取組
 - ・オンライン訓練、ICTを取り入れた訓練の実施
 - ・第4次産業革命に関連する訓練の開発・実施
 - ・技能五輪全国大会や各種技能競技大会への選手派遣
 - ・職業訓練指導員の資質・指導力向上

【在職者訓練】

- 受講者数
 - ・レディメイド、オーダーメイドによる在職者訓練の実施
 - ・外国人労働者に対する在職者訓練の実施

【委託訓練】

- 就職率
 - ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施
 - ・高齢求職者を含めた委託訓練の実施
 - ・託児サービスの提供
 - ・IT活用スキルや基礎的なITリテラシーの習得に資する訓練コースの設定

R3年度の主な取組と実績

【施設内訓練（普通課程）】

- 入校選考応募率 55.3%（目標値100.0% 達成度 D）
 - ・民間のノウハウを活用した広報活動の充実
 - パンフレット及びリーフレットの刷新、PV作成（各校、各訓練科）
 - テレビCM放送（計28本）、YouTube広告（計300,316回）
 - LINE広告（計505,713回）
 - シオターゲティング広告（対応アプリへの広告表示）（計712,328回）
 - ・学校PR担当職員や指導員による高校及びハローワーク訪問（704回）
 - ・高知県移住促進・人材確保センターのHP「高知家で暮らす」にU・Iターン訓練生の紹介記事を掲載（11月）
 - ・高校生を対象としたオープンキャンパスを実施（1回）
 - ・県内高校が開催する説明会への参加（6校）
 - ・県内高校への出前授業（5校）
 - ・県内高校からの学校見学会（5校）

■自己都合による中途退校率 8.9%（目標値5.7% 達成度 D）

- ・生活相談員を継続して配置（週4日）し、訓練生の相談に対応（延べ相談人数 144人、延べ相談件数 208件）

■就職率（うち関連就職率）90.0%（88.9%）
（目標値95.0%（85.0%） 達成度 B（A））

- ・就職コーディネーターが企業訪問をおこない、企業の人材ニーズを把握（延べ394社）
- ・能力開発支援相談員による就職支援（延べ398回）
- ・ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実施（3回/1人）
- ・インターンシップの実施（5科 延べ44社）

■その他全般に関する取組

- ・オンライン訓練、ICT訓練の実施に必要な通信回線開通工事（11月完了）
- ・デジタル機器の整備（マシニングセンタ、デジタル溶接機等）
- ・技能五輪全国大会県予選への参加（オートボディ科、配管科）
- ・各種研修への参加（整備主任者研修 7月）

【在職者訓練】

■受講者数 159人（26コース）（目標値210人 達成度 C）

- ・高知県溶接協会総会で在職者訓練を紹介
- ・高知県工業会 人材育成委員会でリーフレット及び訓練案内配布（四半期ごと）
- ・高知県職業能力開発協会、高知県溶接協会に案内配布の依頼（随時）
- ・在職者訓練計画を当校ホームページに掲載（4月）
- ・産業振興センターのメルマガで本校在職者訓練を紹介（1回）
- ・事業主の要望に応じオーダーメイド型訓練を実施（3コース）
- ・個別企業訪問時にリーフレットを70部配布（随時）
- ・外国人技能実習生を対象とした特別教育を実施（1コース）
- ・ロボット化に対応した訓練の実施（2コース）

【委託訓練】 ※就職率 = (就職者300) + (就職退校者29) / (修了者372) + (就職退校者29)

■就職率 82.0%（目標値80.0% 達成度 A）

- 受講者数 420名
- 修了者数 372名 就職者数 300名 就職退校者数 29名
- ・ジョブカードの作成の支援を実施した。（3回/1人）
- ・高齢求職者（65歳以上）が7名受講した。
- ・託児サービスの利用者は2名
- ・IT系の訓練を実施した（30コース 定員463名 受講者数382名）

R4年度の主な取組（第1四半期の取組と今後の予定）

【施設内訓練（普通課程）】

■入校選考応募率（目標値100.0%）

<第1四半期の取組実績>

- ・DVD（PV）を県内公立高校へ配布（6月）
- ・高知及び四万十公共職業安定所内においてPV放映（常時）
- ・学校PR担当職員による高校訪問（95回）、ハローワーク訪問（20回）、ハローワークで開催される説明会への参加（5回）、若者の学びなおしと自立支援事業（会議）への参加（3回）
- ・県内高校が開催する説明会への参加（6校）
- ・県内高校等への出前授業（3回）
- ・県内高校からの学校見学会（4校）
- ・入校受験年齢制限の撤廃

<第2四半期以降の取組予定>

- ・学校イベント「ワクワクWORKキッズフェス」の開催（10月）
- ・テレビCMやオンライン広告を実施
- ・学校PR担当職員や指導員による学校やハローワークへの訪問
- ・県外移住者向けの情報発信として、県移住促進・人材確保センター等と連携し、オンライン説明会や紹介記事の掲載を実施
- ・オープンキャンパス実施（2回：7、8月）
- ・県内高校が開催する説明会への参加（1回：8月）
- ・出前授業の実施（1回：9月）
- ・デジタルサイネージ等の媒体を活用し、高等技術学校を周知。

■自己都合による中途退校率（目標値5.7%）

- ・引き続き生活相談員を配置（週4日）し、保護者とも連携することで、訓練生の支援体制を強化（通年）
- ・校長、職業能力開発課長、クラス担任、生活相談員、能力開発支援相談員、就職コーディネーターによる定期的な会において、学業不振、欠席・遅刻が多い訓練生について共有化を図る。（通年）
- ・やむをえず進路変更となった訓練生については、能力開発支援相談員が中心となり、就職支援を実施。（通年）

■就職率（うち関連就職率）（目標値95.0%（90.0%））

- ・就職コーディネーターを配置し、企業の人材ニーズを把握。（通年）
- 企業訪問 延べ88社（6月末）
- ・能力開発支援相談員による訓練生に対する就職支援（通年）
- 就職支援者数 延べ260人（6月末）

■その他全般に関する取組

- ・濃厚接触者となった訓練生に対しオンライン訓練を実施（3時間）
- ・デジタル機器を活用した訓練の実施（約400時間実施（1学期））
- ・技能五輪全国大会県予選への参加（オートボディ科 7月、配管科 1月）
- ・各種研修への参加（ひびみ取り研修5月、新任指導員研修6月、整備主任者研修7月、玉掛け技能講習8月、溶接学会全国大会9月、トイレの仕組みと施工実習12月）

【在職者訓練】

■受講者数（目標値210人）

<第1四半期の取組実績> 3コース 受講者数 10名

レディメイド型 2コース 定員18名 受講者数5名

オーダメイド型 1コース（外国人技能実習生） 定員5名 受講者数5名

<第2四半期以降の取組予定> 25コース 定員209名

レディメイド型 19コース 定員179名

オーダメイド型 6コース 定員30名

【委託訓練】

■就職率（目標値82.0%）

- ・ジョブカードを用いたキャリアコンサルティングの実施（第1四半期の実績：9回）
- ・高齢求職者を含めた幅広い層に対して訓練を周知
- ・希望する方に対する託児サービスの確実な提供
- ・受講希望者の増加に対応するため、IT系訓練の定員数を増加